

令和 8 年度

運営に関する計画

大阪市立桜宮小学校

令和 8 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は長年、体育科の研究を推進してきた。体力の向上だけでなく、話し合い活動の充実により、児童一人ひとりの考えを深めるとともに、よりよい人間関係の構築を目指した教育活動に取り組んできた。

また、本校の学校目標である「豊かな心を持ち、知・徳・体の調和の取れた実践力のある子どもの育成」のもと、児童が主体的に学び、友だちと協働しながら課題を解決していく力を育むとともに、心身ともに健やかに成長することを目指した教育の充実を努めてきた。令和 8 年度以降も、大阪市の掲げる基本理念の実現に向け、本校の教育実践を一層推進していくようにする。

以上をふまえ、下記の 3 つの柱についての本校の現実と課題について整理する。

最重要目標 1 安心・安全な教育の推進

いじめはどのような理由があっても許されないという意識は高い水準を維持しているが、100%の実現を目指し、引き続き指導の充実が必要である。一方、日常的に心の天気など ICT を活用した児童理解や保護者との連携により、早期発見・対応の体制づくりが進んできている。

また、ファミリー活動(たてわり班活動)により、異学年間の関りが深まり、高学年が低学年を思いやる姿や、低学年が高学年にあこがれを抱く姿が見られるなど、良好な関係が育まれている。

今後は、児童一人ひとりの変化を丁寧に見取り、いじめや不登校の未然防止に向けた組織的な支援のさらなる充実が課題ある。

最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上

学力面では、学力経年調査で大阪市平均を上回る成果が見られる一方、経年比較では伸びに差があり、学力の二極化が課題である。苦手な単元の分析を進め、個別最適な学びに向けた、授業改善が求められる。

体力面では、体育科の研究の成果により運動を好きな児童が多く、新体力テストでも全国平均を上回ることができた。

最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実

心の天気や授業での調べ学習といった ICT の活用は日常化しているが、情報を整理したり、友だちと共有したりといった授業での活用は指導者によって差が出ている。ICT に関する研修を実施するとともに、教職員同士が効果的に活用できる具体的な場面を共有し、指導技能の向上を目指すことで、学習のツールとしてのさらなる定着につなげていくようにする。

また、主幹学校司書の配置により、読書環境が整い、読書活動の推進につながっている。今後も児童の読書習慣の定着を目指していく。

働き方改革は進んでいるものの、時間外勤務の縮減に向けた取組を継続していく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。
- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査における国語、算数の平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 令和 11 年度の本市調査において、各校種における教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 20 時間以下にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- 小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の

考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○校内アンケートにおいて「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

○1か月あたりの平均時間外勤務時間が45時間以内を満たす教職員の割合を90%以上にする。

○小学校学力経年調査の「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立桜宮小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>異学年交流を通して、自分の役割や友だちの良さに気付けるようにし、互いを思いやり、尊重し合える集団作りを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・縦割り班（ファミリー）を用いた集会などの異学年交流の機会を年に 10 回以上、児童会行事を学期に 1 回行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>自分自身の良さに気づき、主体的に活動できる児童を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・月に 1 回程度、児童朝会の時に日々の様子についてできていたことや頑張っていたことを振り返り、児童の自信につなげられるようにする。また、各学級で月 1 回以上子どもたち同士で認め合い、称賛しあえる機会を設ける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>自他の生命を大切にし、お互いに尊敬し合う態度や自他の人権を守る行動をとることができる児童を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・人権教育年間指導計画を作成し、それに基づいてそれぞれの学年で年間 3 回人権課題について考える機会を設定する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

大阪市立桜宮小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○校内アンケートにおいて「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>対話的な学習を多面的にとらえ、あらゆる教科、領域の学習において、児童がともに学びあう集団の育成に努める。</p>	
<p>指標</p> <p>・ペアやグループで意見交流をする場を 1 日 1 回以上設定する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>教員の指導力を向上させるために、「主体的・対話的で深い学び」を視野に入れた授業研究や校内研修を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>・授業を受けもつ全教員が研究授業や公開授業を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>さまざまな運動にふれる機会を多く設け、運動の楽しさを味わうことができるように努める。</p>	
<p>指標</p> <p>・体育科の授業を充実させるとともに休み時間を有効活用し、運動する時間を確保する。</p> <p>・「桜の力週間」を学期に 1 回設定し、仲間との交流を通して楽しく運動できるようにする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立桜宮小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>○1か月あたりの平均時間外勤務時間が45時間以内を満たす教職員の割合を90%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査の「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①</p> <p>【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>児童の興味・関心を高める授業の一層の推進に向けて、ICT機器を有効的に活用する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で児童が学習者用端末を使用する場を月3回以上設定する。 ・デジタルドリルやデジタル教科書など、ICT機器を有効的に活用できるよう、研修会を年間3回以上実施する。 	
<p>取組内容②</p> <p>【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、働き方改革を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「セットの日」を週1回以上、「ゆとりの日」を月1回以上設定する。 	
<p>取組内容③ 【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館の活性化を推進し、児童の読書への意欲向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書をする時間を週2回以上設定する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点